AC流動性可視化装置

日本防水工法開発協議会

ビルドリペア技研工業

製作年　2018

目　的　コアコーン内部の流動状態の可視化確認

製作費　本体+備品+移動用コンテナ　¥70、000-

別途品　給気筒・排気筒(AC電源兼用)・ｺｱｺｰﾝ0.5㎡

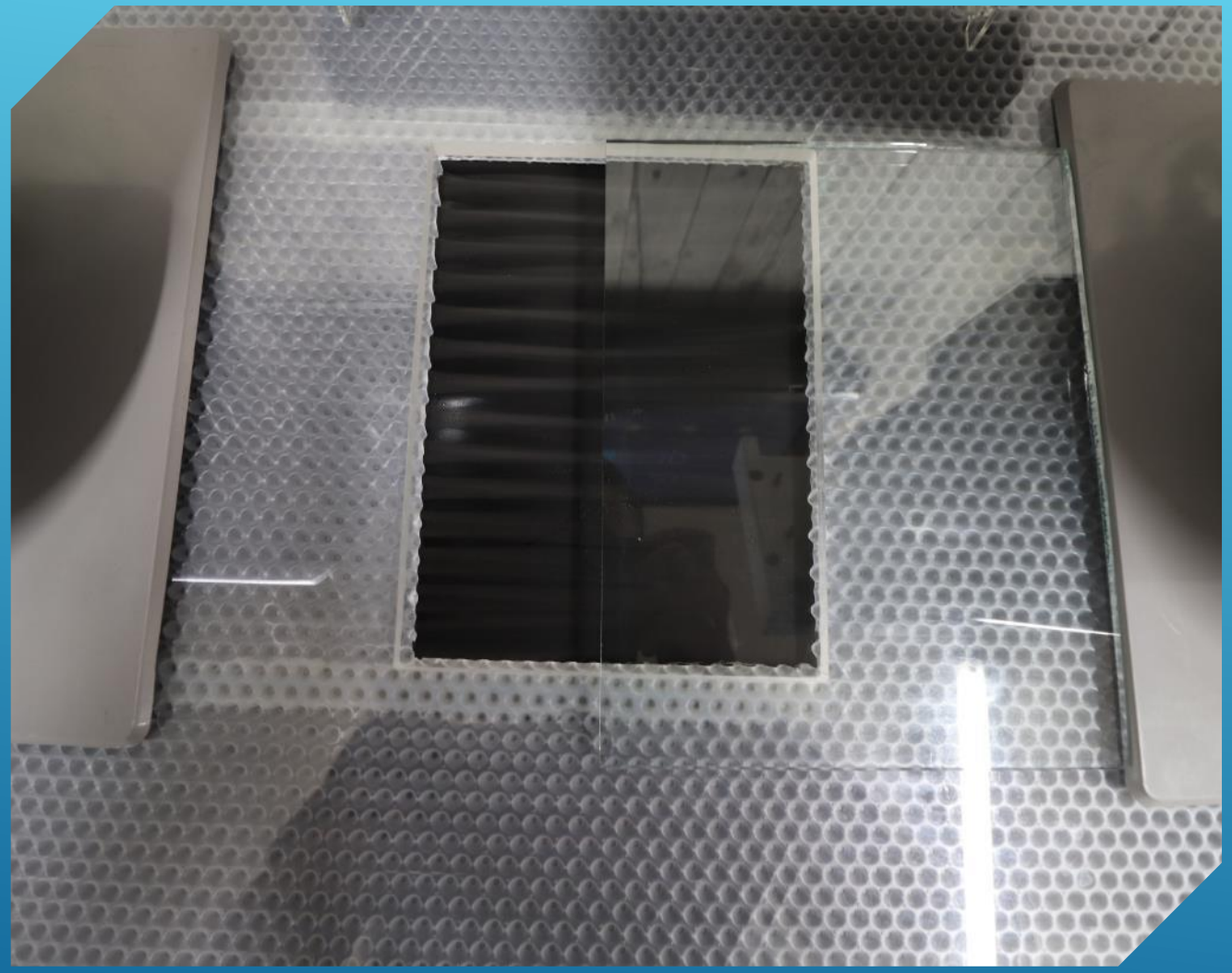
完成ユニット

組立手順　1.ベースプレート

組立手順　2.コアコーン敷設

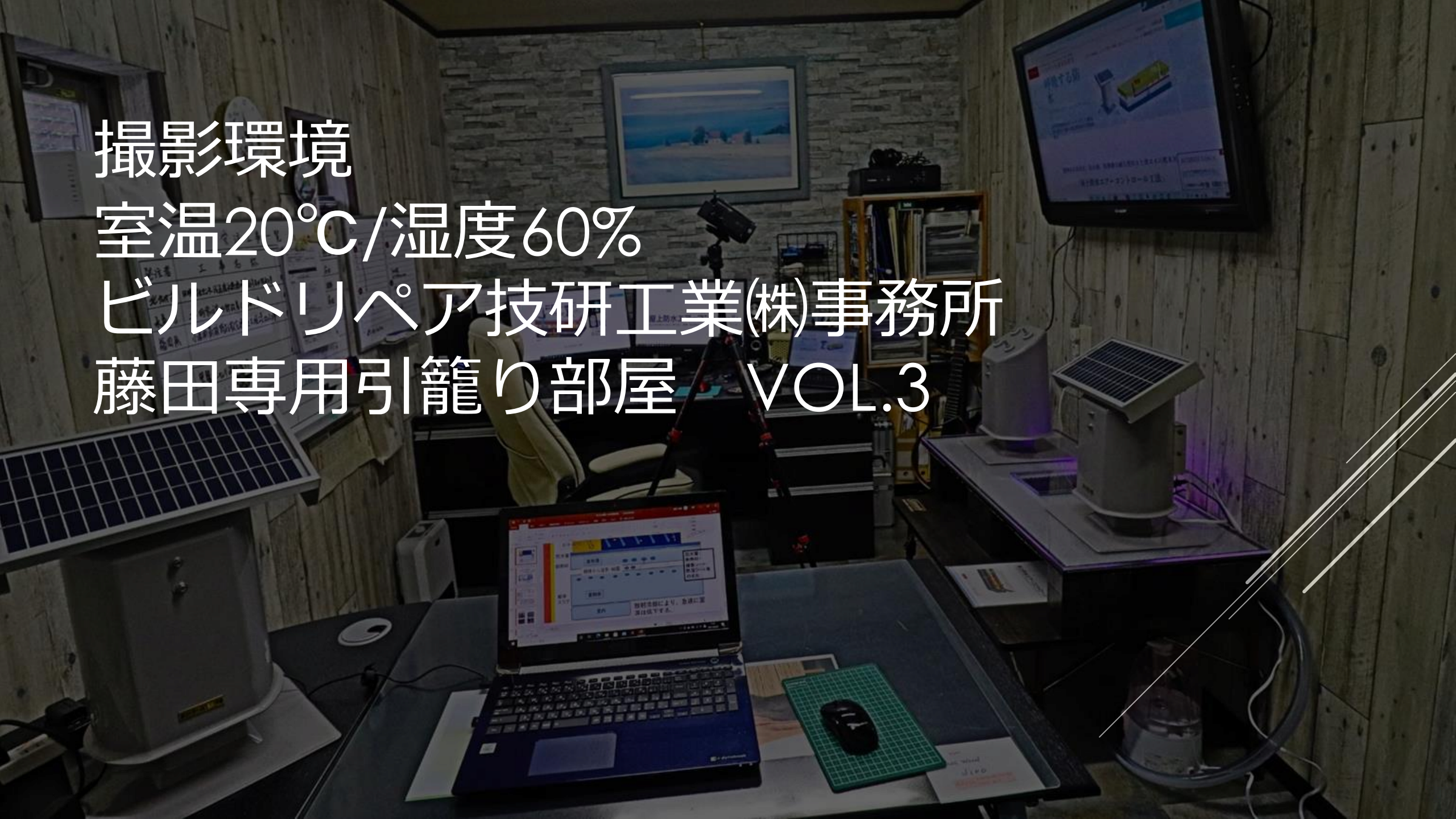
組立手順　3.アクリルパネル設置

組立手順　4.吸排気塔設置



目視確認窓

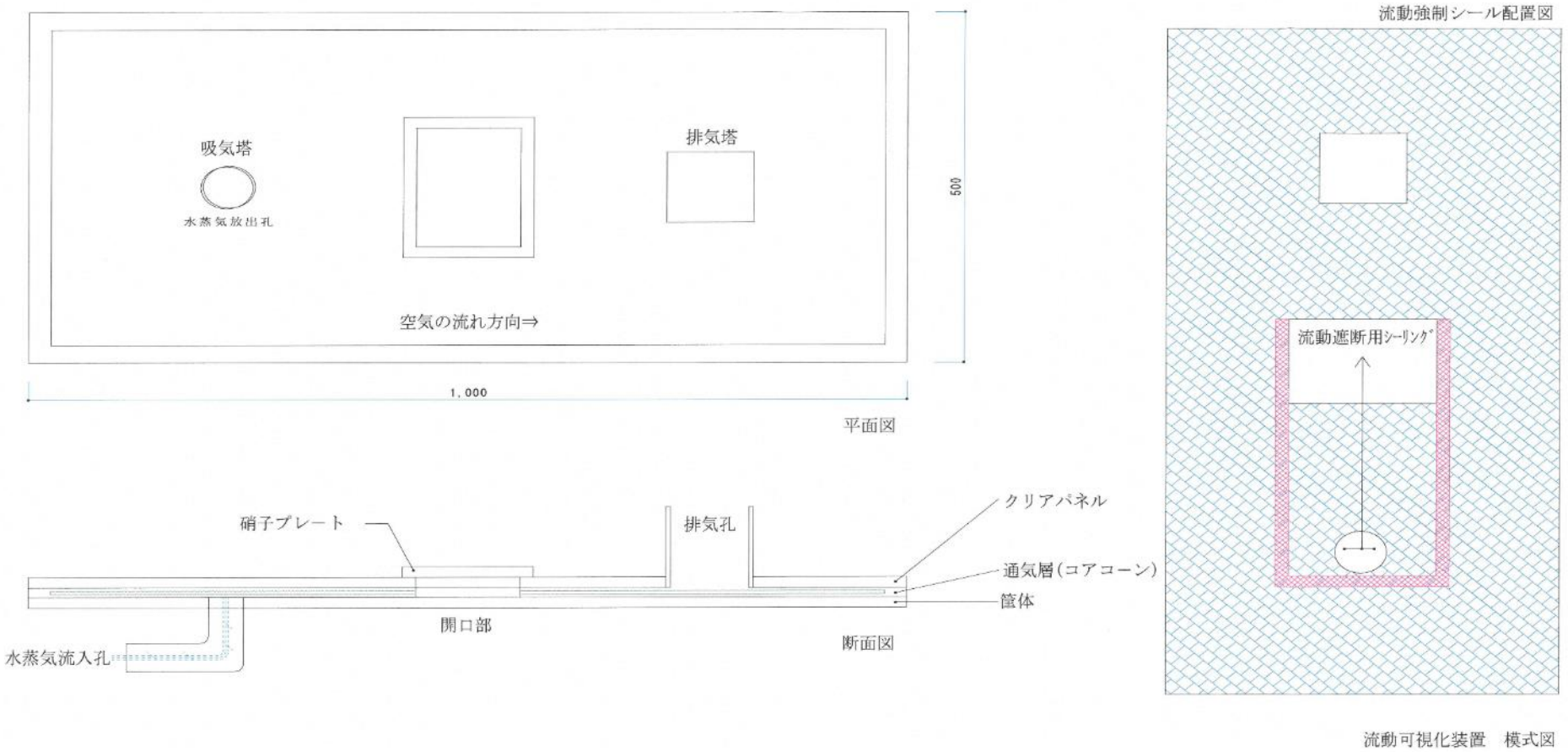
水蒸気発生機



撮影環境
室温20℃/湿度60%
ビルドリペア技研工業㈱事務所
藤田専用引籠り部屋　VOL.3

Exmor R
Balanced Optical SteadyShot
SONY
HD
AVCHD
HANDYCAM
Canon
EOS
dynabook
CUTTING MAT
22.5×15cm

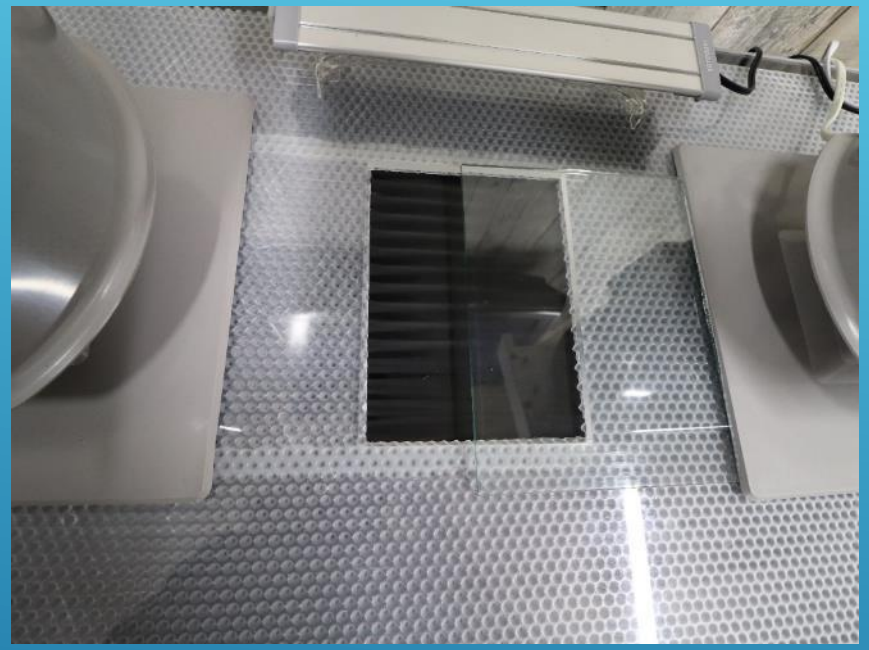
撮影機材



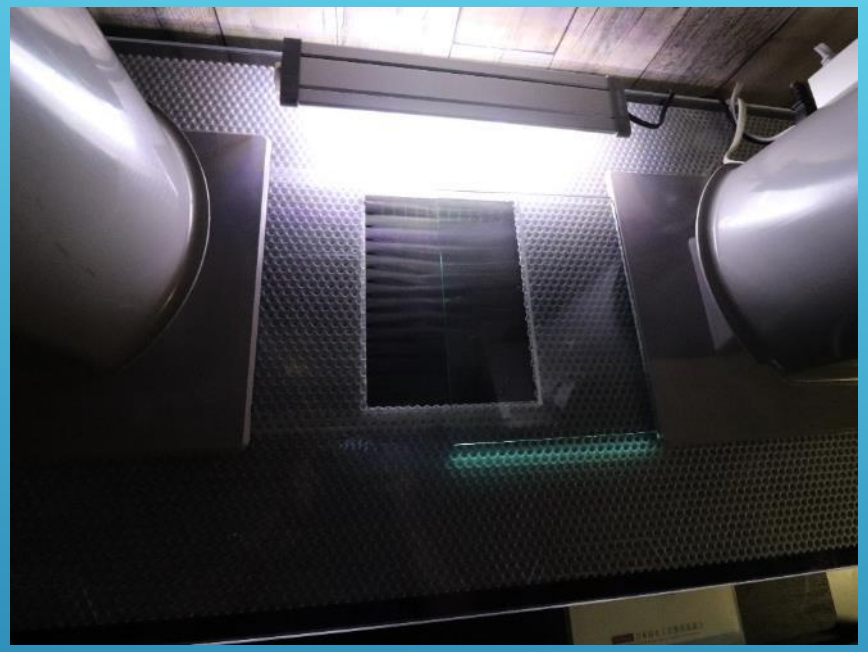
流動可視化装置　模式図

全体構成図

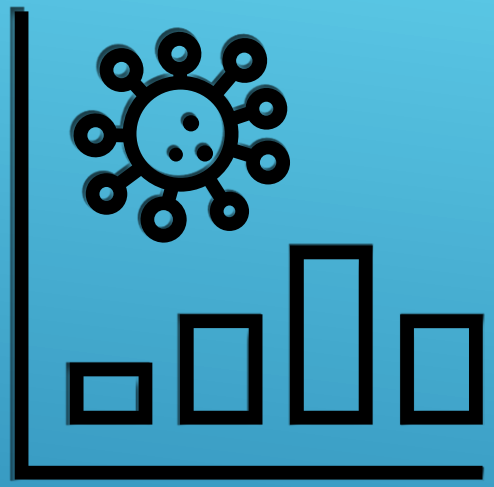
室内灯点灯



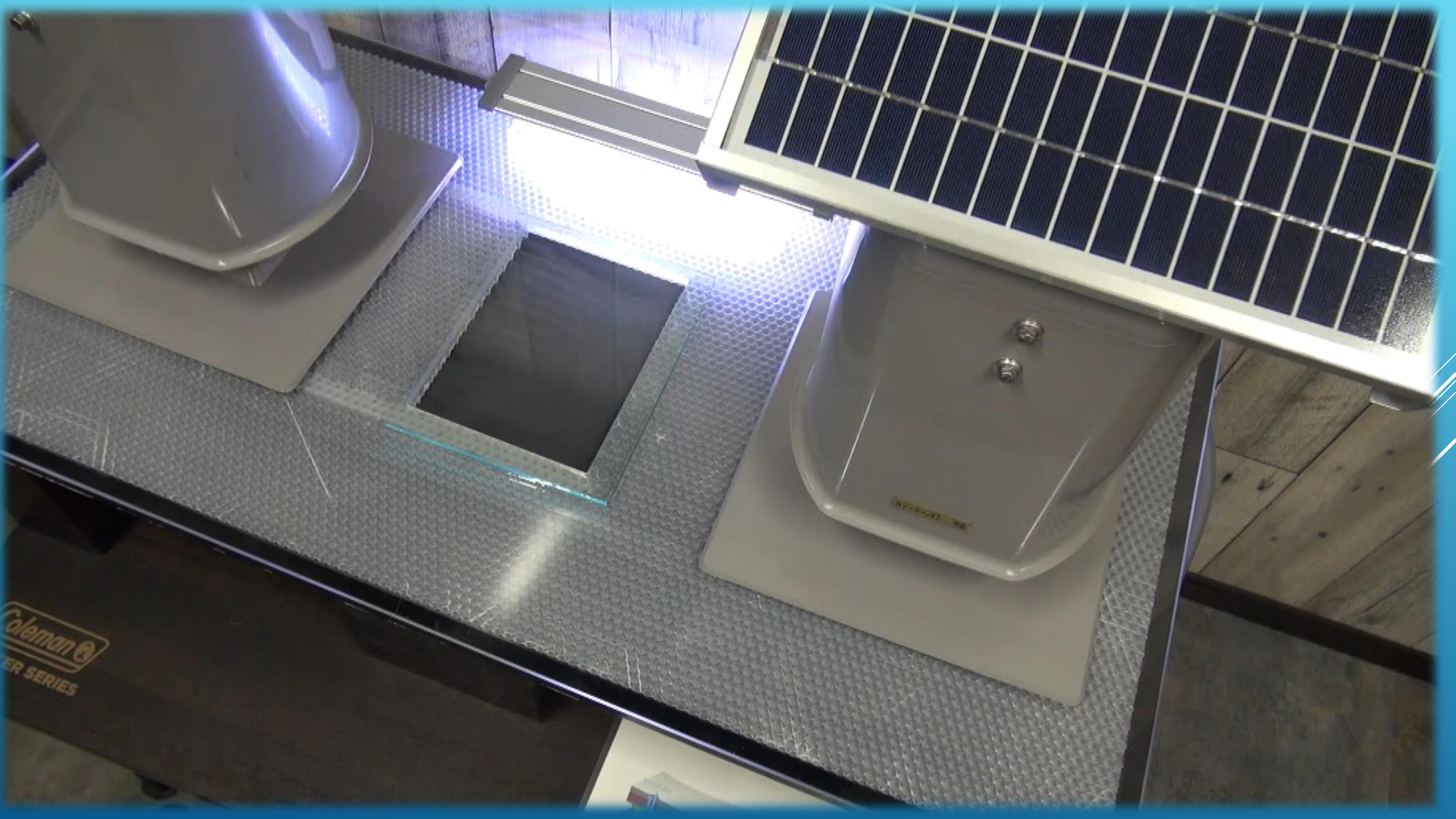
室内灯消灯　LED照明のみ



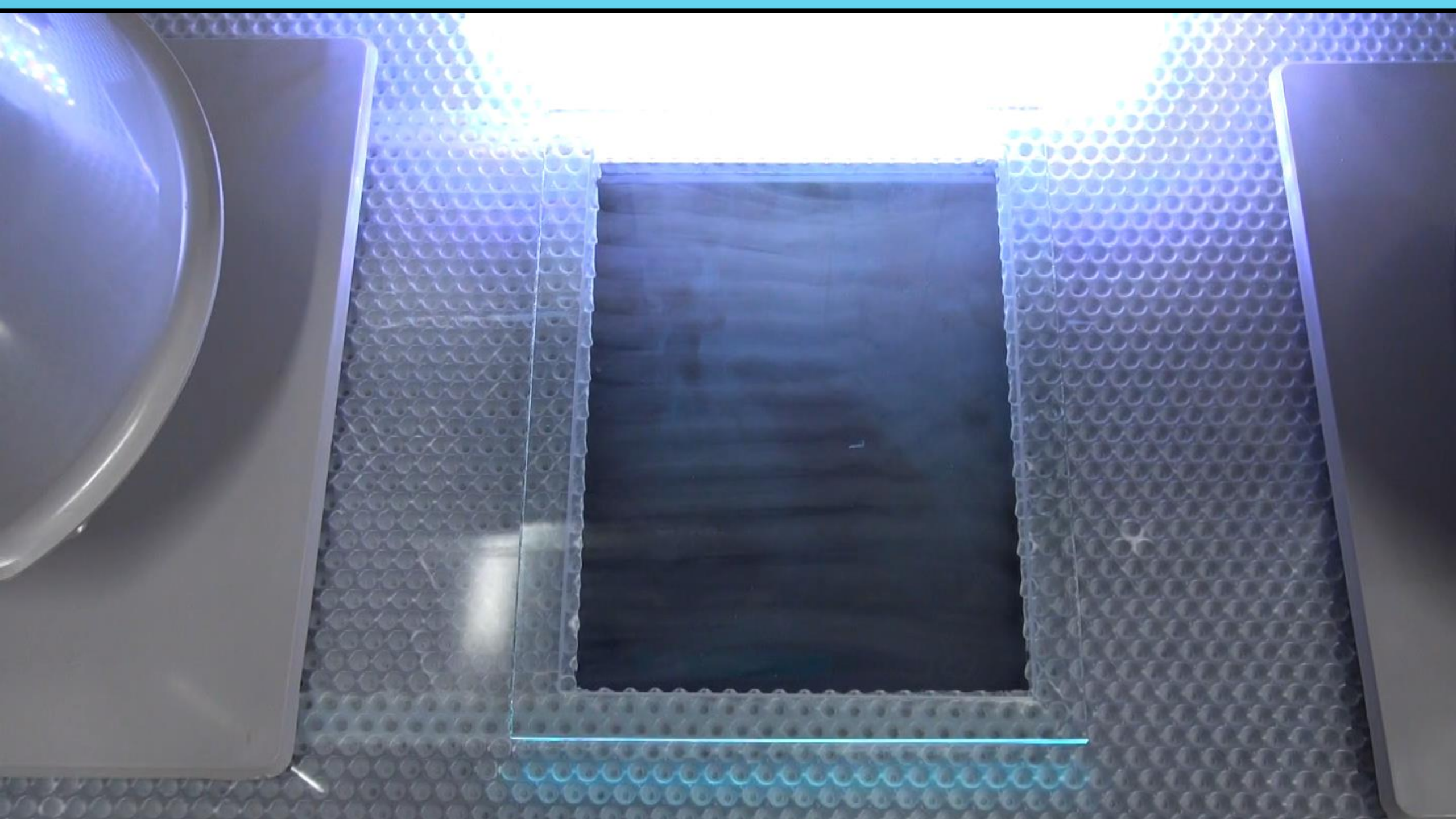
照明による見え方の比較



動画　２分55秒　固定カメラ
空気の流動状態の確認


Coleman

動画　55秒　移動カメラ
ｿｰﾗｰJETからの排気確認



エアコントロールー工法の意義

　開発当初、屋上の防水層の下に残留する水分の排出を目的としたものをスタートとして、
様々な実証実験を繰り返し行い試行錯誤を積み重ねた結果、空気の持つ力とそれを制御することにより、
思いがけない付加価値が発見されたことは嬉しい誤算であった。
　湿気を取り除く事により、室内環境の改善や躯体そのものの長寿命化に繋がり、必要なエネルギーは
太陽光のみである本工法は新しいかたちでの、　環境負荷低減に寄与するエコ事業であると考える。
雨漏りを防ぐだけの形から付加的要素が加わり、従来の工法とは一線を画す新工法である。

JCW R+D 日本防水工法開発協議会
九州支部